

令和4年6月15日（水）博物館地域説明会（西公民館）

<質疑応答>

質問者①

質問：構想自体には賛成ですが、話を聞いていると視野が狭いと感じます。観光ではなく、市民だけを意識している印象を受けます。観光と相まってやっていったら良いのではないのでしょうか。

回答：まずは市民の皆さんに富士宮がどういう所なのか、自分たちがどのような資源を持っているのかを知ってもらい、それを踏まえた上で次のステップとして、観光誘致に繋がるような活動ができればと思っています。

質問：わかりました。

質問者②

質問：構想をすべてデジタルにできないのでしょうか。

回答：ホームページに構想の全文を掲載しています。

質問：そうではなく、文化財を専用のデジタルミュージアムにできないのでしょうか。施設自体は現状維持で、収蔵場所としては学校の空き教室を利用し、展示は文化会館で行う、というのはどうでしょうか。

回答：それも検討しましたが、収蔵庫は特殊な造りが必要なため、改修費がかなり高額になる可能性があります。

また、実際にふじのくに環境史ミュージアムで行った例がありますが、かなり苦勞して運用しているようです。学校を収蔵庫に使うのは難しいと思われます。

質問：高校の跡地が埋蔵文化財センターになっているのですが？

回答：埋蔵文化財センターはもともと土の中に埋まっていた土器や石器が中心で、そこまでの環境を設ける必要がありません。しかし今回構想する博物館では古文書のような紙の史料が多く、傷みやすいです。

質問：それならば余計デジタルにした方が良いのではないですか。

回答：ただ、実物をきちんと展示しないといけないのです。

質問：実物は手に取って触れるのですか？

回答：それはさすがに難しいかと思われます。ただ、実物をケース越しに見てもらいます。あるいは調査研究の段階で、手で触ることができるものについては講習会等を開き、その中で実際に見てもらうことはできます。実際まだデジタルにできていないものは沢山ありますから、そういう作業と一緒にやってもらう、そういった場合にもなるかと。

質問：わかりました。

質問者③

質問：ふじのくに環境史ミュージアムに行ってきましたが、学校を利用しているため非常にスペースが広く、学芸員とは別に各教室に一般の方々が一人ずつ居て説明をされており、非常に面白いなと感じました。

私が言いたいのはひとつ、廃校を利用できないかということと、もう一つ、廃校の利用が無理なら、土地のお金も大変でしょうし、博物館を浅間大社や図書館、富士山世界遺産センターの近くに建設して、文化関係の施設を集めれば、駐車場を共用することができ、他施設と一緒に回ることができると思うのですが、どうですか。

回答：そのような意見は色々な所から頂いていて、かなり検討しましたが、現状では使える所がありません。また、浅間大社周辺は地下水の関係で下手に掘ると湧玉池の水が枯れかねません。土地の確保について、これ以上敷地を小さくしたら運営できないギリギリまで詰めてバランスをとった結果が現状となっています。土地の購入費用は大きなものになると踏まえた上で、今回の結論に至りました。これから他に良い土地が見つかればそちらも検討することもやぶさかではありません。まだ構想の段階で、検討が必要なので、一つのご意見として受け止めさせていただきます。

質問者④

質問：博物館を作った後の維持管理費はいくらになりますか？

回答：維持管理費については、どういう運営をするのか、建物をどういう造り方にするのかによって全く違います。今の段階ではいくらかかるかは分かりませんが、ただ、何千万円かはかかります。

また、運営の内容によって必要な学芸員の人数も変わります。博物館の運営費はほとんどが学芸員の人件費なので、これから検討する中ではっきりしていく状況です。

質問：今、埋文センターと郷土資料館でもお金がかかっている、その費用はこれからもかかっていくわけですが、それを差し引いた金額を説明していただければと思います。

回答：次回以降そのようにさせていただきます。

質問者⑤

質問：入場料は取りますか？

回答：まだ議論の途中ではありますが、検討の中で『入場料を頂く方が良い』という意見をいただいています。財政的にというよりは、『ただで入ったら何も見ないで出て行ってしまう、入館料がかかればちゃんと見る、勉強する』ということを博物館関係の方々から言われています。今後そういった視野から検討を続けていきます。

質問者⑥

質問：博物館を置くのは大変良いと思います。ただ、他の市町村を見ると、モノを作るには維持費がかかり、作った後に困ってしまう事が結構あります。今後の収益性の見込みはどのようなのでしょうか。

山形県朝日町のエコミュージアムのような形（建物を造らない回遊型の博物館）にする、また、前の方が言っていたように観光の観点も考えた複合型の施設にするのはどうでしょうか。

前の質問者も言っていたのですが、博物館の目的からするとこの三つの候補地しかないのかもしれませんが、人口分布を考えるとこの（西町）辺りが良いのかと思います。近隣の区長さんで山車の保存、飾る場所を作りたいと言っている人もいますし、どうでしょうか。

回答：建物を造らないというのは、（費用面からは）そうしたいのはやまやまです。しかし現実問題として、収蔵、展示施設は必要です。今、郷土資料館がありますが、きちんと管理できるような場所ではありません。展示施設はどうかかなるとしても、収蔵庫は絶対に作らなければならず、一番費用がかかります。それならば展示施設も一緒に作った方が良いでしょう。

展示を作らない形式というのは、富士宮市では「歩く博物館」という近いものをやっていますが、それはあくまでもサポートであり、博物館は必要になります。

場所に関して、町中が良いというご意見については、現状ではどうしても適地がありません。今ある施設に造成して、となると今以上にお金がかかってしまいます。今後使えそうな場所があれば、また、いくらかかっても町中でという声がありましたら検討させていただきます。候補地は、今の時点でできるところをピックアップしています。